

外部評価(事業仕分け)結果にかかる市の対応方針

事業番号	7	事務事業名	区、組等に関する事務	担当課	安全安心まちづくり課
評価結果	田川市要改善		市の対応方針	改善	
外部評価 (事業仕分け)時の意見、要望など	<p>【外部評価(事業仕分け)における議論時の意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その団体に補助金以上の繰越金があれば補助できない決まりになっている自治体もある。懇親費用に税金が必要か</li> <li>・区長が実際は何を担っているのか、また実費用の積算を示すべき。稼働日数や走行距離等</li> <li>・繰越金952千円を留保しなければならない理由は何か。特定の目的があつて将来使う予定があるか</li> <li>・根拠要綱なりの中で補助に適した事業を決める必要がある。それが無いとヤミ支出となり、住民監査や訴訟の対象となる。区長会補助金100万円のうち、視察研修と総会で大半を使っているが、この合理性、公益性が必要</li> <li>・区長会補助金は他の自治体でも批判が多く、せっかく頑張っている区長がそういう目で見られている。研修と懇親を分けたり、日帰りにする等の見直しを行っているところが増えている</li> <li>・目的欄には活動支援等の記載があるが活動実績欄は広報配布しか記載されていない。自治会育成等の活動実績があれば記載すべき</li> <li>・積算根拠となる数字を持つべき。研修と懇談は分けた方が良い</li> <li>・中間連絡員を置く必要があるのか</li> <li>・広報は郵送のほうが安く済むのでは</li> </ul>				
	<p>【評価シート記載コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市区長会への補助金は目的が不明確であり、廃止すべき。あわせて報償費のあり方、業務についても整理が必要。</li> <li>・報償費は積算根拠を明確にすべき→要改善</li> <li>・補助金は不要。繰越金不透明。補助金の使途に公益性は薄い。半分が視察、総会で終わっている。</li> <li>・広報配布の方法については検討が必要。地域コミュニティを活性化させるために包括補助金等を考えていただきたい。</li> <li>・地域コミュニティ活動の強化に一層資する事業の充実を図るべき。</li> <li>・区長会補助は大幅見直し要。</li> <li>・中間連絡員は廃止。①どんな作業がいくつある、時間は、②標準化する</li> <li>・中間連絡員の必要性の再確認。時代のニーズに合わせた形式、区長、組長との議会後、決定を</li> <li>・お金の掛けすぎ。広報は郵便でも良いと思う</li> <li>・区に入らない人を無くす努力を市がやるべき</li> </ul>				
行政改革 推進本部 決定内容	<p>【事業の手法について】</p> <p>●区長会への補助金について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、本市が支出している全ての団体補助金の実態把握をするため、補助金支出団体及び要綱に係る調査を行政改革推進室において行う。</li> <li>・調査結果を踏まえ、本市補助金支出額算定の基本的なルールを決める。</li> <li>・区と校区活性化協議会との整合性を見直した上で、区の再編を行う。</li> </ul> <p>●広報誌配布について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区長、中間連絡員、組長への報償金の使われ方(区の運営、個人か)の実態を把握する。</li> <li>・仮に郵送による全戸配布に切り替えた場合、どのような所にマイナス要素が出てくるのかを研究した上で、配布方法を現行どおりとするのか、郵送に変更するのか検討する。</li> </ul> <p>【翌年度予算について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・翌年度予算には反映しない。</li> </ul> <p>【その他】</p>				